

大阪湾生き物一斉調査

大阪湾生き物一斉調査

豊富な海産物の恵みを得られる海を目指した取り組みによる、環境改善効果等を把握するためのモニタリング調査。

項目	第1回 (2008年)	第2回 (2009年)	第3回 (2010年)	第4回 (2011年)	第5回 (2012年)	第6回 (2013年)	第7回 (2014年)	第8回 (2015年)	第9回 (2016年)	第10回 (2017年)	第11回 (2018年)	第12回 (2019年)
調査参加 人数(人)	467	666	792	931	1,328	1,375	1,244	1,227	1,080	1,101	1,305	1,090
地点数 (地点)	15	15	17	18	21	23	22	24	26	25	26	24



スナメリ調査

- ・ 5月15日の調査では、6頭を確認。
- ・ 5月25日の調査では、10頭を確認。
(共に関西国際空港南側海域)

※かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にする事がなくなりました。

- ・ 大阪湾の24地点31団体、合計1,090人による調査を行った結果、607種の生物が確認。
- ・ 環境省、水産庁、WWFおよび大阪府、兵庫県等で指定されている貴重種として85種が確認。
- ・ そのうち初めて確認された貴重種は4種。
- ・ ヒライソガニが15地点、ケアシヒライソガニが5地点で確認。